

## 健康に働く職場の共通課題

グローバルな動きに合わせた方向づけをさぐる

青川 徹

小木和孝 著  
・産業保健の国際共通課題  
すべての労働者にサービスを届けるために  
10・10刊 A5判152頁 本体1600円

book



労働に起因する死は近年世界で年間20~70万余と推計されてゐる。死の原因は、心臓職業がなんらかより知られてきたが、日本の過労死・過労自殺は代表される過労死である。本書はそぞした働く人の病気やけがを予防して健康に働く知恵を取り上げ、現代の働き方を見直しへの指南図となるべく。

た業績をあげる。その集大成のものと申す(伊国屋書店)ば、少しうの「現代人と疲労」(一) 疲労の本質に迫り、現代人の働き過度と過労を防ぐ具体的な対策を提案した。この効果生理学者としての蓄積と経験が健康職場つくりを支える産業保健技術の重要な背景となつてゐるといふふた。 本書は3部で構成されてゐる。各部を通じて、職場つくりに労使が協力して取り組むやうい健康職場つくりの力点のお三方が整理されていく。

第一部「一次予防の推進」は、国際的に共通した健康職場の特徴を取り上げ、国際基準と各国の良好事例を紹介し

第二部「産業保健技術」では、小企業支援のセミナーなどを講じておられる。一方で、小規模事業者の小工場の良好実例、欧洲の建設業、労使の階層的な協力で理解できることなる。この立派なアライ・ストラテジーは、労使の自主改め、化学物質等にも応用が広がり及した分野形態、専門職による産業保健が支えるグル

格差解消や中  
心的な課題を  
ために、産業保健  
に対する触足がみ  
る。マークや韓国  
の環境支援シス  
テム、議論や自動車整  
備例など、シン  
ガポールの改革が有用な  
事例である。特に、英  
国と日本が提唱する  
「スマート・ラ  
ン」は、職場  
環境モデルとし  
て、世界に普及  
する。様々な  
産業保健チーム  
による、産業保健サ  
ービサー、1980年代の  
良好実例に学ぶ方式があ  
りといよいよ世界中に広が  
つくることになる。  
参加型改善は効果的で手順、推  
進役の役割、実績交流のある  
方などを学ぶことができる。  
補足として新型コロナウイル  
ス感染症対策で参加型の環境  
改善がどう展開されたか、I  
LOの事例が紹介されてい  
て、本書の価値を高めてい  
る。

この労働者の産業安全保健を担うための組織として、労働環境改善に関する条約策定、職場改善国際プロジェクト推進等に關わった。1990年の年に帰国し労働科学研究所所長、2000～2010年にかけては国際産業保健学会（ICOH）会長等を歴任。著者がつぶやきぬてゐた世界や日本の歴史的経験をもとに「参加型の職場改善」手法を発見し開発普及に努めてきた経緯が知られる。この手法は「ISOが推奨」、「アジア・南米・欧州・アフリカへ広がり、そして世界レベルへのための「職場アッセイ」として、国の枠を超えて波及した。それが職場の危害

界と日本で活躍し、参加知識等で健康改善の開拓と普及に貢献してきた。その経験と科学知識に基づいた本書は、企業等で健康管理を担当する産業医・産業看護師・衛生管理者、人事労務管理担当者向けとして、健康に関する知識についての役立つ。一般読者でも理解できるように、平易な文で読みやすく、健康に興味ある人の关心のある方にむけて、もぜひ手に取っていただきたい書である。なお、同年に発売された『職場が変わった』の続編である。なお、同年に発売された『職場が変わった』の続編である。

ながら必要な視点を説く。健  
康に働く中核は病気やけがの  
原因を取り除く一次予防に力  
点があることから、人間工学  
とストレイン予防の共通軸、国  
際的な健康職場支援のベクトル  
が同じことと気づく。エル  
〇〇による国際基準の年代別推  
移、英國、フィンランド、米  
国など)共通する効果的な複  
合型の対策からそれを見て  
取れる。国際的に「法規制」  
による「安全管理体制」から、  
事業場ごとの「自主予防措置」  
活改善などがいたたいて、  
一九八〇年代には「著者ら」  
[著者ら]では、著者がこれまで  
で「ISOや海外とのネットワ  
ーク、日本国内での連携活動  
で作り上げてきた、労働者参  
加型職場改善の実例」が紹介さ  
れる。一九八〇年代には「著者ら」  
によって開発された「中小事業  
場向けのライズ、農業労働生  
小規模事業場の健康職場づく  
りへのヒントがふんだんにあ  
る。

**古書買入** 店舗へ持込  
宅配便買入 2t車出張買入  
買入専用フリーダイヤル  
0800-800-4088

**株)新日本書籍** 千代田区神田神保町2-48  
TEL03-3261-0255  
<http://www.booktown.co.jp/sns/>

卷之三

に関心の薄い経営層を説得し、ついで終わるのではなく、むしろ現場の実績を認められて、直ちに改善していく力が、これが良い実感に結び付けて、いつ著者の経験によっていく。労働者の日々の労働生活の中、すでに解決策が存在している。労働者の皮膚のうらわしさにある労働者自身の健康に働き、効率と技術が職場の良好な実績になつてほしいと思ふ。本著の随所に働く人の尊敬のまなざしであることに感心した。